

【資料1】

令和6年度 経営発達支援事業報告書

経営発達支援事業では、計画期間（令和4年度～令和8年度）の年度ごとに事業評価委員会を開催し、当委員会において事業実施状況を報告して、事業年度の事業評価を行うとともに、事業評価を基に次年度以降の事業実施計画を見直すことになっている。

令和6年度の経営発達支援事業の実施状況は以下のとおりである。

1 経営発達事業計画

計画期間 令和4年4月～令和9年3月（5年間）

計画認定	令和4年3月18日
伴走型補助金	令和6年度交付決定額 33千円（計画実行型）

2 令和6年度実施事業の内容等

経営発達支援事業の取組方針・年度別実施状況（別紙・資料2・3）のとおりに

総括：今年度は、鬼北町商工会第二期経営発達支援計画の3年目となり、第一期計画からの改善点を加味した上での計画事業の実施となった。管内事業所への巡回強化や関係機関との意見交換を通じて事業者が抱える多様な経営課題の支援ニーズの汲み取りと各機関との連携支援が実施できた。今後は人手不足や物価高騰等の影響で新たに対応が必要となった事業者の生産性向上の課題解決にも、DX推進や設備投資等の支援策を必要な時に活用できるよう巡回指導を通じた提案型の伴走支援を実施していく。

なお、計画外の事業においても、経営発達支援事業の目的である事業者の経営力強化、事業承継を含めた創業促進、リスク軽減等に寄与できる支援を実施しており、経営環境変化に合わせた柔軟な支援が実施できたと考える。

3 今後の予定

今年度第二期計画の3年目が終了し、精力的に各種事業に取り組んだが、消費者の需要動向調査等の一部計画の進捗が十分でない事業も散見される。しかし、5か年の計画を総合的に考え、次年度以降に設定した目標値を達成できるように改善点を洗い出している。次年度以降も地域資源の発掘と磨き上げを中心として積極的に事業遂行を実施し、計画時の目標値を上回る成果が出せるよう、従来の事業に加え、伴走型補助金等を活用したセミナー開催、展示会出展支援等を随時実施していきたいと考える。

また、職員の人事異動等に備え、事業者情報や支援ノウハウの共有をより推進していく必要があるため、組織内クラウドシステム等を活用したノウハウや情報の具体化・インプットを定型化していき、支援能力の向上、組織力の強化に努めていく。

【凡例】

区分	(計画)	(実績)
○	あり	実施
△	変更	一部
×	なし	未実施

【資料2】 経営発達支援計画実施状況表

事業分類	支援計画の事業項目	区分	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
3 地域の経済動向調査等	① シンクタンクの情報を活用した愛媛県内の経済動向調査	(計画)	○	○	○	○	○
		(実績)	○	○	○		
	② 地元金融機関と連携した宇和島管内の経済動向調査	(計画)	○	○	○	○	○
		(実績)	○	○	○		
4 需要動向調査に関すること	① 消費者ニーズを捉えるための需要動向調査	(計画)	○	△	○	○	○
		(実績)	○	△	×		
	② 商談会におけるバイヤーへの需要動向調査	(計画)	○	△	○	○	○
		(実績)	○	△	△		
5 経営状況の分析に関すること	① 個別指導を通じた経営分析支援	(計画)	○	○	○	○	○
		(実績)	○	○	○		
6 事業計画策定支援に関すること	① DX推進セミナー	(計画)	○	○	○	○	○
		(実績)	○	○	○		
	② DX専門家派遣	(計画)	○	○	○	○	○
		(実績)	○	○	○		
	③ 事業計画策定セミナー	(計画)	○	○	○	○	○
		(実績)	○	△	△		
7 事業計画策定後の実施支援に関すること	① 四半期ごとの進捗状況確認(第1～3四半期)	(計画)	○	○	○	○	○
		(実績)	○	○	△		
	② 計画・実績の検証(第4四半期)	(計画)	○	○	○	○	○
		(実績)	○	○	△		
	③ 公的施策の活用促進	(計画)	○	○	○	○	○
		(実績)	○	○	○		
8 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	① 「えひめのすご味・すごモノ商談会」への出展	(計画)	○	○	○	○	○
		(実績)	○	△	×		
	② 「ニッポン全国物産展」への出展	(計画)	○	○	○	○	○
		(実績)	○	△	△		
	③ DX活用による販路開拓支援	(計画)	○	○	○	○	○
		(実績)	○	○	○		

【資料3】

経営発達支援事業の取組方針・年度別実施状況

<事業区分> 3 地域の経済動向調査に関すること

<p>取組方針</p>	<p>第1期計画での実施状況を踏まえ、調査内容の範囲と項目を増やすとともに、地域の特徴を捉えた上で専門的な分析、情報提供が必要であることから県内シンクタンクや管内経済団体が参加する会議等で得られた経済動向情報を小規模事業者の経営策定に活用できるように提供する。</p> <p>① シンクタンクの情報を活用した愛媛県内の経済動向調査 ② 地元金融機関と連携した宇和島管内の経済動向調査</p>	
<p>実 施 事 業 の 概 要</p>		
<p>年度</p>	<p>事 業 概 要</p>	<p>摘 要</p>
<p>R4 年度</p>	<p>① 県内経済動向の把握及び情報公開 (株)いよぎん地域経済研究センター発行「調査月報 IRC」活用による県内経済動向の把握及び調査内容を「商工会だよりきほく」にて公表。 ② 宇和島管内の経済動向調査 日本政策金融公庫宇和島支店において開催されたマル経協議会内で管内商工会・商工会議所・日本政策金融公庫が保有する経済動向情報の調査・集積を実施。</p>	<p>毎月の発行情報を基に調査。計4回の情報発信 7月に実施</p>
<p>R5 年度</p>	<p>① 県内経済動向の把握及び情報公開 (株)いよぎん地域経済研究センター発行「調査月報 IRC」活用による県内経済動向の把握及び調査内容を「商工会だよりきほく」にて公表。 ② 宇和島管内の経済動向調査 日本政策金融公庫宇和島支店において開催されたマル経協議会他で管内商工会・商工会議所・日本政策金融公庫等が保有する経済動向情報の調査・集積を実施。</p>	<p>毎月の発行情報を基に調査。計4回の情報発信 年2回実施</p>
<p>R6 年度</p>	<p>① 県内経済動向の把握及び情報公開 (株)いよぎん地域経済研究センター発行「調査月報 IRC」活用による県内経済動向の把握及び調査内容を「商工会だよりきほく」にて公表。 ② 宇和島管内の経済動向調査 日本政策金融公庫宇和島支店において開催されたマル経協議会他で管内商工会・商工会議所・日本政策金融公庫等が保有する経済動向情報の調査・集積を実施。</p>	<p>毎月の発行情報を基に調査。計4回の情報発信 年2回実施</p>

【目標・実績】

項目	R4		R5		R6		R7		R8	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
①愛媛県内経済動向情報の集約	四半期毎	4回	四半期毎	4回	四半期毎	4回	四半期毎		四半期毎	
②宇和島管内経済動向情報の集約	2回	1回	2回	3回	2回	2回	2回		2回	
ホームページでの公表回数	4回	0回	4回	1回	4回	4回	4回		4回	
商工会だよりきほく発行回数	4回	4回	4回	4回	4回	4回	4回		4回	

【R6 評価内容】

①県内の経済動向は毎月の分析結果を四半期で集約。商工会だよりきほくにて集約情報を公開し、管内の小規模事業者に周知した。

②宇和島管内の経済動向情報は例年開催される「経営改善貸付支援団体連絡協議会（マル経協議会）」2回に加えて、鬼北町役場や地域金融機関との行政・金融懇談会にて意見交換を行い、管内経済情勢の動向把握に努めた。

また、ホームページを活用した各種事業者支援施策や地域行事等の情報発信を積極的に行った。

<事業区分> 4 需要動向調査に関すること

<p>取組方針</p>	<p>マーケットインの観点により鬼北町の地域資源を活用した商品を開発するため、買い手である消費者及び取引先（バイヤー）のニーズ等の需要動向調査を行い、小規模事業者に対する「売れる商品づくり」や「消費者ニーズを捉えた商品開発」等による新たな販路の開拓を支援する。</p> <p>① 消費者ニーズを捉えるための需要動向調査 ② 商談会におけるバイヤーへの需要動向調査</p>	
<p>実 施 事 業 の 概 要</p>		
<p>年度</p>	<p>事 業 概 要</p>	<p>摘 要</p>
<p>R4 年度</p>	<p>① きじ汁についてのアンケート調査実施 調査実施場所をねんりんピックリハーサル大会に変更し、特産品「キジ」の商品力向上のための調査を実施。調査結果を集計・分析の上、対象事業者へのフィードバックを実施。</p> <p>② 商談会におけるバイヤーへの需要動向調査 展示会出展での調査は実施できなかったが、代替事業として審査会型マッチング品評会への出品支援を実施し、バイヤーからの品評意見を得た。</p>	<p>※資料別紙</p>
<p>R5 年度</p>	<p>① きじ汁についてのアンケート調査実施 ねんりんピック愛顔のえひめ2023の実施会場にて特産品「キジ」の商品力向上のための調査を実施。調査結果を集計・分析の上、対象事業者へのフィードバックを実施。</p> <p>② 商談会におけるバイヤーへの需要動向調査 ニッポン全国物産展2023への出展支援を実施したが、中小企業者であったため評価は△とした。</p>	<p>※資料別紙</p>
<p>R6 年度</p>	<p>① ニッポン全国物産展2024での需要動向調査 展示会場にて全国連が来場者向けに実施したアンケートの結果を集計・分析の上、対象事業者へのフィードバックを実施。</p> <p>② 商談会におけるバイヤーへの需要動向調査 ニッポン全国物産展2024への出展支援を実施してバイヤーや一般消費者からの品評を得たが、中小企業者であったため評価は△とした。</p>	<p>※資料別紙</p>

【目標・実績】

項目	R4		R5		R6		R7		R8	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
①消費者に対する需要動向調査対象事業者数	2者	1者	2者	1者	2者	0者	2者		2者	
②バイヤーに対する需要動向調査対象事業者数	2者	1者	2者	0者 (1者)	2者	0者 (2者)	2者		2者	

【R6 評価内容】

①計画では10月に開催されるイベント「でちこんか」に合わせ、道の駅広見森の三角ぼうしでの消費者ニーズ調査を実施する予定であったが、今年度は代替事業として11月15日～17日に開催されたニッポン全国物産展2024において全国商工会連合会が来場者向けに個別アンケートを実施した調査内容について集計・分析の上、出展事業者にフィードバックを実施した。

②中小企業者ではあったが、バイヤーに対する需要動向調査に関しては全国商工会連合会が主催する地域特産品の販売会「ニッポン全国物産展」に2者が出品し、バイヤー等の品評意見を得た。

また、消費者及びバイヤーの動向調査として Good Life フェア 2024（東京ビッグサイト）、ニッポン全国物産展 2024（池袋サンシャインシティ）へ視察研修を実施し、状況調査と次年度以降の出展支援に向けての研修を実施した。

<事業区分> 5 経営状況の分析に関すること

<p>取組方針</p>	<p>商工業の現状と課題を踏まえて、地域資源を活用した特産品開発（ブラッシュアップ含）を目指す小規模事業者の経営実態把握、経営課題及び強みの抽出からスタートし、事業計画の策定、新たな需要の開拓へと一連した支援につなぎ、活力のある企業を育成する。</p> <p>① 個別指導を通じた経営分析支援</p>	
<p>実施事業の概要</p>		
<p>年度</p>	<p>事業概要</p>	<p>摘要</p>
<p>R4年度</p>	<p>① クラウド型経営支援システム Bizミルを活用した経営分析支援 個別指導を通じて事業者情報及び事業環境の把握を実施、その後システム活用による情報の蓄積及び分析（定量・定性）を行ったものを対象事業者へフィードバック。その後の事業計画策定・補助金申請等に活用した。</p>	<p>経営分析及びフォローアップ件数：19件</p>
<p>R5年度</p>	<p>① 新経営支援システムを活用した経営分析支援 個別指導を通じて事業者情報及び事業環境のヒアリングを実施、その後システム活用による情報の蓄積及び分析（定量・定性）を行ったものを対象事業者へフィードバック。その後の事業計画策定・補助金申請等に活用した。</p>	<p>経営分析及びフォローアップ件数：18件</p>
<p>R6年度</p>	<p>① 新経営支援システムを活用した経営分析支援 個別指導を通じて事業者情報及び事業環境のヒアリングを実施、その後システム活用による情報の蓄積及び分析（定量・定性）を行ったものを対象事業者へフィードバック。その後の事業計画策定・補助金申請等に活用した。</p>	<p>経営分析及びフォローアップ件数：22件</p>

【目標・実績】

項目	R4		R5		R6		R7		R8	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
個別指導による経営 分析事業者数	6者	19者	8者	18者	10者	22者	12者		12者	

【R6 評価内容】

新経営支援システムを活用しての分析件数。実績件数は目標値を上回っているが、今後は策定した事業計画の実効性の検証を行うなどアフターフォローが必要と考える。

<事業区分> 6 事業計画策定支援に関すること

取組方針	<p>地域資源を活用した特産品開発や、災害対応等の事業継続支援を通じ事業者とともに事業の本質的な課題の抽出・将来の具体的行動計画まで明確にし、有効な事業計画書の策定に結び付けていく。また、策定段階でのDXに向けた取り組みを重点的に強化し、小規模事業者の競争力維持強化を目指す。</p> <p>① DX推進セミナー ② DX専門家派遣 ③ 事業計画策定セミナー</p>	
実 施 事 業 の 概 要		
年度	事業概要	摘要
R4年度	<p>① DX推進セミナー 新型コロナの影響により、開催が見送られたが、代替として愛媛県商工会連合会主催のDXセミナー（オンライン開催）に会員事業所が参加。</p> <p>③ 事業計画策定セミナー 新型コロナの影響により、開催が見送られたが、代替として個別指導による事業計画策定支援を実施。</p>	※資料別紙
R5年度	<p>① DX推進セミナー i. 愛媛県商工会連合会より「グーペ推進モデル商工会」の指定を受け、会員事業所のホームページ作成支援を実施。 ii. 11月に松野町商工会と合同でChat GPT活用セミナーを実施し、経営へのAI活用について理解を深めた。</p> <p>② DX専門家派遣 グーペ推進にあたり必要となる操作機能研修や個別相談を専門家派遣により対応した。</p>	※資料別紙
R6年度	<p>① DX推進セミナー／②DX専門家派遣 i. 電子地域通貨 KIHOCA の導入にあたり、先進地域や専門業者の担当者を講師に招き、電子マネーの制度概要や加盟店舗に向けたポイント精算時に必要なタブレットの操作方法等について習熟を図った。 ii. 11月に松野町商工会と合同でSNSを活用した販路拡大セミナーを実施し、デジタル媒体による広報や集客について知見を広めた。</p> <p>③ 事業計画策定セミナー セミナーの開催は実施していないが、中小企業診断士や金融機関等講師に招き、個別指導による事業計画策定支援を4件実施。</p>	※資料別紙

【目標・実績】

項目	R4		R5		R6		R7		R8	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
①DX推進セミナー	1回	1回	1回	2回	1回	6回	1回		1回	
②DX専門家派遣	随時	0者	随時	2回	随時	5回	随時		随時	
③事業計画策定セミナー開催数	1回	0回	1回	0回	1回	0回	1回		1回	
事業計画策定事業者	5者	10者	6者	8者	7者	6者	8者		8者	
創業計画策定事業者	2者	4者	2者	1者	2者	2者	2者		2者	
事業承継計画策定件数	1件	0件	1件	0件	1件	1件	1件		1件	

【R6評価内容】

①②電子地域通貨 KIHOCA の導入にあたり、加盟店募集からタブレット等の機器の操作方法まで先進地の講師等を招いて講習会を実施した。また、商工会員無料ホームページ作成サービス「グーペ」を活用した DX 推進を実施し、新規で2者のホームページ開設に繋がった。

③定額減税実務対策セミナー等の集団講習会を4回、労務や税務等の個別相談会を11回実施した。また、個社への補助金申請支援・金融支援等を通じて事業計画6者・創業計画2者・事業承継計画1者の計画策定を支援した。

事業承継計画の策定については、県の事業承継引継ぎ支援センターと連携して事業承継診断シートの活用や個別相談への対応等でニーズの掘り起こしを実施した。これらを基に次年度以降のさらなる計画策定に繋げていく予定である。

<事業区分> 7 事業計画策定後の実施支援に関すること

取組方針	<p>事業計画を策定した全ての事業者を対象にフォローアップを行うこととし、経営指導員が巡回指導・窓口相談を定期的実施することで計画の進捗状況を確認し、目標達成（特に売上・利益の検証）に向けた支援を実施する。</p> <p>① 四半期ごとの進捗状況確認（第1～3四半期） ② 計画・実績の検証（第4四半期） ③ 公的施策の活用促進</p>	
実施事業の概要		
年度	事業概要	摘要
R4年度	<p>① 事業計画策定事業者へのフォローアップ 事業計画策定事業者（補助金申請含む）に対し、進捗状況の確認を実施。効果的な対応についてアドバイス等。</p> <p>② 事業計画策定事業者の検証 売上高・利益率の検証を重点的に実施。</p> <p>③ 基幹業務・補助金申請支援・関係機関との連携による各種支援を随時実施</p>	
R5年度	<p>① 事業計画策定事業者へのフォローアップ 事業計画策定事業者（補助金申請含む）に対し、進捗状況の確認を実施。効果的な対応についてアドバイス等。</p> <p>② 事業計画策定事業者の検証 売上高・利益率の検証を重点的に実施。</p> <p>③ 基幹業務・補助金申請支援・関係機関との連携による各種支援を随時実施</p>	
R6年度	<p>① 事業計画策定事業者へのフォローアップ 事業計画策定事業者（補助金申請含む）に対し、進捗状況の確認を実施。効果的な対応についてアドバイス等も行った。</p> <p>② 事業計画策定事業者の検証 売上高・利益率の検証を重点的に実施。</p> <p>③ 基幹業務・補助金申請支援・関係機関との連携による各種支援を随時実施</p>	

【目標・実績】

項目	R4		R5		R6		R7		R8	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
フォローアップ対象事業者数	5者	10者	6者	14者	7者	14者	8者		8者	
フォローアップ回数 (延数)	20回	30回	24回	15回	28回	24回	32回		32回	
売上 10%以上の増加事業者数	2者	4者	3者	2者	3者	4者	4者		4者	
利益率 3%以上の増加事業者数	2者	4者	2者	1者	3者	3者	3者		3者	

【R6 評価内容】

補助金申請支援等による事業計画策定事業者に対して、事業進捗・事業実施後の事務処理対応等についてフォローアップを実施。

短期的な事業計画ではなく、中長期的な計画に基づいたフォローアップ対象事業者を選定し、支援対象とすること及び、収支計画にも中長期的に伴走支援していく必要がある。

<事業区分> 8 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

<p>取組方針</p>	<p>鬼北町の特産品を活用した事業者・事業計画策定事業者等に各種展示会出展を呼びかけ、事前・事後の出展支援を実施し、販路開拓支援を行う。また、DX活用による販路開拓の理解度向上・導入支援・活用時の専門家派遣等、事業者の段階に合わせた支援を実施する。</p> <p>① 「えひめのすご味・すごモノ商談会」への出展 (BtoB) ② 「ニッポン全国物産展」への出展 (BtoC) ③ DX活用による販路開拓支援 (BtoB)</p>	
<p>実施事業の概要</p>		
<p>年度</p>	<p>事業概要</p>	<p>摘要</p>
<p>R4年度</p>	<p>① 「えひめのすご味・すごモノ商談会」への出展 (BtoB) 令和4年度は開催が見送られたため、計画の商談会への出展は無いが、別途、審査会型マッチング品評会（バイヤーズルーム）への出品支援を実施した。 ② 「ニッポン全国物産展」への出展 (BtoC) コロナ禍により出展を見送ったが、販売委託型展示販売会（冬の巣ごもりフェア in ルミネ立川）での出展支援を実施した。</p>	<p>※資料別紙</p>
<p>R5年度</p>	<p>② 「ニッポン全国物産展」への出展 (BtoC) 中小企業者であったが、地域特産品の展示販売会への出展支援を実施した。 ③ DX活用による販路開拓支援 (BtoB) 商工会が推進するグーペのホームページ内においてカラーミー機能を利用したECサイト構築を支援した。</p>	<p>※資料別紙</p>
<p>R6年度</p>	<p>② 「ニッポン全国物産展」への出展 (BtoC) 中小企業者であったが、地域特産品の展示販売会への出展支援を実施した。 ③ DX活用による販路開拓支援 (BtoB) i. 地域内外からの購買力を獲得することで消費を喚起し、地域経済の活性化に繋げるため電子地域通貨KIHOCAを運用開始した。 ii. 商工会が推進するグーペのホームページ内においてカラーミー機能を利用したECサイト構築を支援した。</p>	

【目標・実績】

項目		R4		R5		R6		R7		R8	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
①えひめの すご 味・すご モノ商談 会	特産品製 造業者数	2者	1者	2者	0者	2者	0者	2者		2者	
	1者あたり の商談件数	2件	5件	2件	0件	2件	0件	2件		2件	
	1者あたりの 商談成立件数	1件	継続中	1件	0件	1件	0件	1件		1件	
②ニッポ ン全国物 産展	出展事業 者数	1者	1者	1者	0者 (1者)	2者	0者 (2者)	2者		2者	
	1者あたり の売上額	10万円	2.7万円	10万円	(26.5万円)	10万円	(20.9万円)	10万円		10万円	
③(イ) SNS活用	SNS活用事業 者数	2者	8者	4者	8者	6者	11者	8者		8者	
	売上増加率	5%	16%	5%	11%	5%	9%	5%		5%	
③(ロ) ECサイ ト活用	ECサイト利 用事業者数	1者	2者	2者	2者	3者	2者	3者		3者	
	売上増加率	5%	4%	5%	3%	5%	2%	5%		5%	

【R6評価内容】

①今年度は管内事業者に周知を行ったが、申込には至らなかった。次年度以降、対象事業者の洗い出しを徹底し、必要に応じて専門家を活用した出展支援を行う。

②バイヤーに対する需要動向調査に関しては全国商工会連合会が主催する地域特産品の販売会「ニッポン全国物産展」に2者が出品し、バイヤーの品評意見を得た。3日間の開催期間中に当初目標額の約2倍の売上高を達成した。

③(イ) SNS活用では管内の事業者の利用件数が増加傾向にあるほか、商工会のホームページでインスタグラムとfacebookのアカウントを連携して管内の事業者とも数多く相互にフォローしている。今後もタイムリーな情報発信を積極的に実施することでSNS活用事業者の周知を絡めた広域への宣伝効果を見込んでいる。

③(ロ) 現時点でECサイトニッポンセレクト.comに登録している事業者は2者(3商品)であり、次年度以降更なる拡大を目指す。

次年度以降の展示会出展時に円滑な支援を実施できるよう、GoodLifeフェア2024(10/25.26.27開催 東京ビッグサイト)、ニッポン全国物産展2024(11/15.16.17開催 池袋サンシャインシティ)で研修を実施した。

<支援能力向上の取組> 9 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

<p>取組方針</p>	<p>経営発達支援事業を円滑に推進するため、当該年度の事業を評価し次年度に向けた見直し・改善を協議し PDCA サイクルの構築を図る。</p> <p>開催時期：毎年 3 月</p> <p>構成委員：</p> <p>委員長 商工会会長</p> <p>委員 商工会副会長 2 名</p> <p>商工会事務局長</p> <p>法定経営指導員</p> <p>愛媛県商工会連合会 経営支援部長</p> <p>鬼北町 企画振興課</p> <p>外部有識者 伊予銀行近永支店長</p> <p>外部有識者 愛媛銀行近永支店長</p> <p style="text-align: right;">計 9 名</p>	
<p>実 施 事 業 の 概 要</p>		
<p>年度</p>	<p>事 業 概 要</p>	<p>摘 要</p>
<p>R4 年度</p>	<p>令和 5 年 3 月 24 日（金）14：30～ 開催</p>	
<p>R5 年度</p>	<p>令和 6 年 4 月 15 日（月）13：00～ 開催</p>	
<p>R6 年度</p>	<p>令和 7 年 3 月 24 日（月）15：00～ 開催</p>	

<支援能力向上の取組> 10 経営指導員等の資質向上等に関すること

取組方針	経営発達支援事業を円滑に推進するため、職員個人の資質向上及び職員全体の支援ノウハウの共有・支援体制の強化等、複雑化する経営課題に対応できる支援能力の向上を図る。	
実 施 事 業 の 概 要		
年度	事 業 概 要	摘 要
R4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会の積極的参加 ・中小企業大学校研修への参加 専門研修（1名）、基礎研修（2名） ・職員 OJT の開催、定期ミーティング ・先進事例研修（食料品展示会・高級スーパー視察） グルメ&ダイニングスタイルショー春 2023 新宿高島屋 新宿伊勢丹 紀伊國屋 恵比寿アトレ(成城石井) 品川クイーンズ伊勢丹 他 	
R5 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会の積極的参加 ・中小企業大学校研修への参加 専門研修（1名）、基礎研修（2名） ・職員 OJT の開催、定期ミーティング ・先進事例研修（食料品展示会・高級スーパー視察） グルメ&ダイニングスタイルショー春 2024 銀座三越 香川・愛媛せとうち旬彩館 有明ガーデン 羽田エアポートガーデン 他 	
R6 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会の積極的参加 鬼北町にぎわい塾、創業セミナー ・中小企業大学校研修への参加 ・職員 OJT の開催、定期ミーティング ・先進事例研修①（電子地域通貨視察） 旭川商工会議所（北海道）、香美市商工会（高知県） ・先進事例研修②（食品・衣料品・工芸品等展示会視察） Good Life フェア 2024 	

令和6年度 経営発達支援事業評価書（集計）

令和7年3月24日

事業評価委員氏名 _____

下記の通り令和6年度経営発達支援事業について評価します。

評価基準	A…目標を達成することができた	(100%)
	B…概ね目標を達成することができた	(70~99%)
	C…改善の余地あり	(30~69%)
	D…要改善	(0~29%)

自由意見

事業区分 3 地域の経済動向調査に関すること

A . B . C . D

A…5 . B…4 . C…0 . D…0

事業区分 4 需要動向調査に関すること

A . B . C . D

A…0 . B…5 . C…4 . D…0

事業区分 5 経営状況の分析に関すること

A . B . C . D

A…4 . B…4 . C…1 . D…0

事業区分 6 事業計画策定支援に関すること

A . B . C . D

A…1 . B…6 . C…2 . D…0

事業区分 7 事業計画策定後の実施支援に関すること

A . B . C . D

A…1 . B…8 . C…0 . D…0

事業区分 8 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

A . B . C . D

A…0 . B…6 . C…3 . D…0

・実働に活かせる情報を出すほうがいい

■令和6年度事業についてのご意見、ご質問等

- ・経営発達支援事業の取組方針・年度別実施状況を見て評価させていただきました。
- ・よくできました
- ・地域通貨のご推進、今後よろしくお願いいたします。

■次年度以降の事業に対するご意見、ご提言等

- ・鬼北町が生き残っていくキーワードは「農商工連携と観光」だと思います。商工会におかれても引き続き創業支援、事業の拡大・多角化支援に積極的に関わってほしい。
- ・動向調査の結果について町においても情報共有により特産品開発の推進に努めたい。
- ・がんばりましょう